

新南部清掃工場(ごみ焼却施設・バイオガス施設)整備・運営事業について

【1 施設整備基本方針】

1. ごみを安全かつ安定的に処理できる施設

市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、長期間ごみを安全かつ安定的に処理できる施設とします。

2. 周辺環境や自然環境に配慮し、循環型社会及び低炭素社会に寄与する施設

建築デザインや敷地内の植栽など周辺環境に配慮した施設とするとともに、排ガスなどによる影響を低減することや、生ごみ等をバイオガス化することによって、自然環境への負荷の低減や生ごみ等の資源化を図る施設とします。

3. ライフサイクルコストの低減を図り、経済性に優れた施設

事業手法の検討によりライフサイクルコストの抑制を行うとともに、ごみ焼却の余熱利用による高効率発電やバイオガス施設からのガス供給等によって運転管理費の低減を図り、経済性に優れた施設とします。

【2 周辺景観との調和がなされた施設外観】

- ▶ 外観デザインコンセプトは薩摩スタイルとし、市民の郷土に対する誇りと愛着が醸成される施設とします。
- ▶ 外壁に鹿児島のイメージカラーである「黒」を使用することで、質実剛健の気概である「薩摩士魂」の精神を表現します。
- ▶ 外壁には鹿児島の工芸品である大島紬や、薩摩切子の柄をデザインとして取り入れ、煙突には薩摩藩主島津氏の家紋「十文字」をデザインとして取り入れます。
- ▶ 建築物は、耐候性に優れた塗装や、換気吸込口の工夫等、降灰・塩害への対策を行います。



外観デザインイメージ

【3 事業概要】

事業名称	鹿児島市新南部清掃工場（ごみ焼却施設・バイオガス施設）整備・運営事業	
建設場所	鹿児島県鹿児島市谷山港三丁目3番地3	
事業方式	DBO（Design Build Operate）方式	
設計・建設期間	平成29年12月26日～平成33年12月31日（4年間）	
維持管理・運営期間	平成34年1月1日～平成54年3月31日（20年3か月間）	
処理能力	ごみ焼却施設 220t/日（110t/日×2炉） ストーカ式（並行流焼却炉） バイオガス施設 60t/日（30t/日×2基）	
処理対象物	もやせるごみ、し尿処理施設からの脱水汚泥、可燃性災害廃棄物	
余熱利用	ごみ発電（高効率発電：最大発電量4,710kW）	
ガス利用	都市ガス事業者へ供給	
事業費（8%税込み）	設計・建設	21,060,000千円
	維持管理・運営	13,932,000千円
	合計	34,992,000千円
事業者グループ	川崎重工業(株)九州支社【代表企業】 (株)渡辺組、(株)前田組、南生建設(株)、小牧建設(株) テスコ(株)、K E E環境工事(株)、(株)芙蓉商事	

【4 ごみ処理フロー】

